

所 属	県土整備部	道路維持課
担当(係)名	市町村道担当	内線 3708

( 款 ) 8 土木費 ( 項 ) 2 道路橋りょう費 ( 目 ) (4)交通安全対策費  
( 明細書事業名 ) 単独事業  
中山道 P R 事業費

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
3,000	一般財源 3,000	委託費 300(デザイン検討)
(前年度 0)		工事費 1,700(案内標識設置)
		印刷製本費 1,000(パンフレット)

## 2 事業目的

中山道は、江戸の日本橋から群馬県、長野県、岐阜県、滋賀県を経て京都府を結ぶ、江戸時代の旧五街道（東海道、中山道、甲州街道、奥州街道、日光街道）の一つであり、旧五街道の中でも最も長く69の宿場を持つ。この中山道の4分の1相当（約128km）が岐阜県を通過し、中でも当時の景観を比較的残しているのが中津川宿～太田宿間であり、平成17年2月に岐阜県中津川市に編入となった木曾路馬籠宿は、景観を保存した観光地として賑わいをみせている。

しかし、現在の中山道沿いには、その存在を明示する案内看板・標識などがあまり設置されておらず、岐阜を訪れた観光客などに美濃中山道をPRする手段が整備されていない状況である。

そこで、中山道の存在を広く一般にPRすることにより、「ひだ・みのじまプロジェクト」の取組みの一環として「みんなでつくろう観光王国飛騨・美濃条例」に基づく観光誘客活動を盛り上げる。

## 3 事業内容

ハード対策（県管理道路区間において事業を実施）

- ・中山道統一デザインの検討（関係市町村と連携して実施）
- ・中山道を明示する案内標識の設置
- ・統一デザインプレートの設置（照明灯等）
- ・統一デザインステッカーの貼付（歩道部）

ソフト対策（道の駅などの観光拠点において展開）

- ・中山道案内パンフレットの作成及び配布

